

ウッディチキン／名古屋例会

『定例会レポート 19』

日	程	2006年11月8日(水)
会	場	名古屋国際ホテル 2階 <参加者478名> 名古屋市中区錦3丁目23-3 052-961-3111
参加者数		講習会=478名、親睦会=180名、2次会=約60名
講演会内容		PM7:15~10:30 ・伊藤代表挨拶 ・ 行徳哲男先生「心の経営業と感性」 ・TOSHI LIVE (サプライズ)
二次会		PM10:40~11:40 同ホテル 2階



レポート作成

ウッディチキン総事務局
谷口 隆

<http://woodychicken.com> info@woodychicken.com

< 伊藤代表より >

1. ウッディチキンの成り立ち説明

- ・ 5年前、有志が集まったのがきっかけとなり、ここまで会員が増えてきた。
- ・ 本を読み、「心の勉強」と「人助け」をする会にしようということで、会をスタートさせた。
- ・ 今もその理念は変わらない。
- ・ 正会員で1000名くらい、セミナーに参加される方を入れると3000名くらいの規模になってきている。
- ・ 今までの活動状況をかいつまんで写真で報告。



- ・ 断食の話、アジアチャイルドサポートの話、支部は5名の世話役を作って活動していくことなど。
- ・ 今日、中部支部のEMA大橋さんのお世話で、行徳哲男先生に来て頂きました。
- ・ 先生、よろしくお願い致します。

< 行徳哲男先生 講演 >

本日の講演テーマ「心の経営業と感性」

行徳哲男先生のプロフィール

野性と戦いの人間学

社員は自分を守ってくれる社長についていく

天下のこと万変といえどもわがこれに応ずるゆえんは喜怒哀楽の四者を出ず

企業は人、人は心、心は感性

一万人もの社長から「人生の師父」と慕われる傑物がいる

何のために社長業をやっているのか、何を実現するためにこの世にいるのか

社長の本物の事業手腕は「感性の力」からしか生まれない! と説く男・行徳哲男 73歳

「凄み」すら感じさせる現代の哲人である。

家族が慕い、社員が慕い、取引先が慕い、そして社会からも慕われ、支持される

『堂々たる社長人生』を築く実践哲学を指導する。

「心の師」「人生の師」との出会いがすべてを変える。

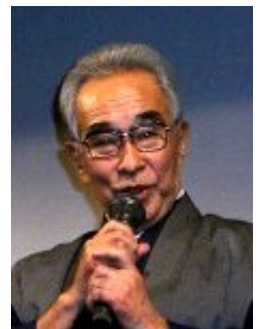
悲しければ涙があふれ、嬉しければ飛び上がって喜び、怒っては食を忘れる。当たり前「任意無作」、即ち自分を工作しない、真情そのままに生きる、それが真人間である。

単純なことだが人間の悟りの極地とも言えるこの「喜怒哀楽」の表現すらできない現代人の多さに衝撃を受け、本来誰もが持つ感性の大切さを気付くために独自の感性開発訓練の道を歩み続けている。そして、現代人が求めて止まない「知」や「理」の世界を離れ、あらゆる森羅万象と一体になって「今ここ」を成就する力を体得していただくことに、全エネルギー、全情熱を打ち込み、「BE訓練」を自らのライフワークとして取り組んでいる。

昭和8年福岡県生まれ。

労働運動激しき時代、衝撃的な労使紛争を体験し、「人間とは何か」をテーマとした道を目指す。昭和44年、渡米しTグループの世界に出会い、BE訓練プログラムを開発する。昭和46年、日本BE研究所を設立し、アメリカの行動科学、感受性訓練と日本の禅、及び経営哲学を融合、発展させ[BE] Basic Encounter Training「人間開発・感性のダイナミズム」訓練を完成させた。この間、米ラフォーヤ人間研究所、カール・ロジャーズ博士、オー博士との親交を深めながら、心のふれあいを大切に感性開発の道を求めて活動している。BE体験者は1万3千人を超え、政・官・財にとどまらず、スポーツ・芸能関係者にも及ぶ。

われ天地に恥じない人物とならん

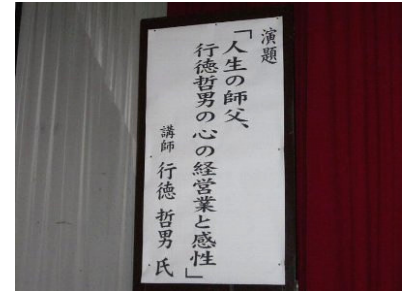


1. 行徳姓について

- ・行徳と言う姓は、井上靖「蒼い狼」、「天平の薨（いるか）」などの作品に出てくる。
- ・映画「敦煌」で、佐藤浩市が演じた役の名が行徳であった。
- ・中国と関連している。
- ・しかし、中国の姓は単姓である。
- ・中国人のスチュワーデスから、「再会」（サイチェン）ではなく「さようなら」と言われてやはり日本人と思った。
- ・行徳は、返り点を打つと、徳を行うと読む。

2. 弥勒菩薩

- ・煩惱万歳である。
- ・ある時、京都のお寺に行き、弥勒菩薩を3時間20分眺めたことがある。
- ・気持ちが落ち着いてくる。
- ・人間が出しうる美しさ、最高の気高さである。
- ・罪を犯した人でないと、こんな美しさは出ない。
- ・自分は35年、山にこもり続けた。



3. 刑務所周り

- ・刑務所周りをするといろいろなことを教わる。涙を見る。
- ・話し終わって、1人ずつの手を握って廻った。
- ・自分もあやまちだらけで生きているじゃないかと、彼らから教わった気がする。
- ・小林タケジは、国家権力に歯向かった。
- ・母は、30分の拜見を許されて、小樽から刑務所に向かった。しかし、途中、雪で列車が立ち往生した。
- ・が、母は前の電車に乗るために走った。
- ・そして刑務所に着くと面会の時間は3分しかなかった。
- ・言葉が出ず、母は立って、「お前を信じている！」とだけ言った。
- ・タケジは拷問にかけられたが、「自分は極楽に行ける」と言って死んでいった。

4. 野鴨

- ・自分のあだ名は「野鴨（のがも）」と言われた。
- ・「翔」と言う字は、羽ばたくという意味。カラスやスズメが飛ぶ時は、翔という字は使わない。
- ・鴨などの渡り鳥は、シベリアなどから1000~2000kmの距離を飛来する。
- ・老人は、この渡り鳥に、十分な栄養を与えようとして餌を用意して食べさせた。
- ・すると鴨は考える。「ここに住みつけば、いつでも十分な餌があるではないか！」
- ・そして、帰る時になっても北へ帰らなくなり、だんだん住み着く鴨が増える。
- ・ついに、飛ばなくなる。
- ・ある日、その老人が亡くなった。当然、餌をやる者がいなくなった。
- ・当然、餌が無くなる。しかし、その時にはもう既に鳥は飛べなくなっていた。
- ・なすすべもなく、激流に流されていった。
- ・「野生の鴨の哲学」



5. トーマス・ワトソン

- ・トーマス・ワトソンは、ミシン等売って歩く行商人だった。
- ・合言葉は、「野鴨であれ！」
- ・この教えで、今は世界で一番魅力的な会社になった。
- ・「IBM」がこの会社である。
- ・日本IBMに入社した社員に、必ず1人でアメリカへ行かせる。
- ・アメリカIBMでは、その社員が25歳の女性であっても、幹部が対等に話をする。

6. アサヒビール

- ・アサヒビールの市場占有率が、一時10%まで落ち込んだ。
- ・その時、中条高徳が登場し、サッポロ、キリンに追いついて返り咲いた。

7. 平和とは何か？

- ・昔、田んぼの水は飲めた。
- ・安全、自由、平和だった。

- ・平和とは何か？
- ・鹿児島を知覧へ行く。
- ・そこでは、平和とは何かがいまいち知らされる。
- ・5～6年前、台風で足止めされ、半日出られなかった時にじっくり知覧を見学し、そこに残されているある特攻隊員の遺書を見た。
- ・「母さん、先に旅立つ不幸をお許し下さい。……………」
- ・そして、その若者は南に散って行った。仏様の顔で散って行った。
- ・平和や豊かさのために散って行った若者達をどう供養するのかが、問われている。

8. 人間の源「トキメキ」

- ・人間の悪は、「安中、安楽」にある。
- ・「気」は、人間の源である。
- ・大学の講義で出てくる「気」を使った言葉はなんと384個あった。
- ・しかし、猿（バク、漠然）としている。
- ・「トキメキ」の度合いによる。
- ・商売は、人にどれだけトキメキを与えることが出来るかである。
- ・山にきた人で、原宿の文化を作った人がいる。
- ・その人の家の真ん中には、ボロボロのミシンが置いてある。
- ・その人は、それが自分の原点なので、その精神を忘れないようにそうしていると言う。
- ・その人の資産は、当初10万円だったが、12年後の今は240億円にまで膨らんだ。
- ・難しい本を読んだから出来るわけではない。
- ・自分の周囲の人が、教えて貰いたいという気持ちをいかに持たせる力を持つことである。これがトキメキである。
- ・トキメキ産業しか、21世紀は残れない。
- ・限定品の強さである。
- ・最高の技師であるモルガンスタンレー氏は、露天商をしていた。
- ・1セントのタバコを買いに来たおばあちゃんに、「私は、あなたからしかタバコを買わないから」と言われた。
- ・「買わずにはおられない、会わずにはおられない」というトキメキが大切。
- ・彼は、傷を癒すために京都に行った。そのときに会った芸者と結ばれる。この芸者さんがモルガンお雪である。



9. 情道が枯れる

- ・山に入れば、頭をいかに磨いても役に立たない。
- ・浅間山荘事件とは、日本人にとって何だったのか？
- ・「情道が枯れる」
- ・あの事件を起こしたのは、名門の息子達、切れ者であった。
- ・頭でしかものが見れなくなった結果である。
- ・映画評論家の淀川長治さんの解説は、ジーンと心に残った。
- ・あの余韻はどこから来るのか？
- ・子供から握手を求められた。
- ・握手をしようとしたら、その子は左手を差し出した。
- ・が、元来左手は戦いの手という意味があるので、払いのけた。
- ・気になり、見ていると右手がなかった。
- ・私は、思わずその子を抱きしめた。
- ・足柄山の金時を見よ。力とは、優しさである。
- ・感動を失って、人間の力が出るわけがない。
- ・感動したら、自分が自分に戻れる。
- ・神が与えた英知とは、「感動すること」である。
- ・感じたら動く。



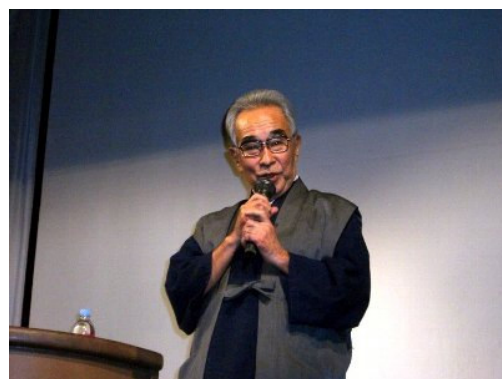
10. 山口良治先生

- ・京都伏見工業の山口良治先生の専用布団が我が家にある。
- ・山口先生はTV映画「スクールウォーズ」の題材になった人である。プロジェクトXでも取り上げられた。
- ・33年前、学校は荒れ放題だった。万引き、かっぱらいが横行していた。
- ・ある日、先生が教室に行ったら誰もいなくて、全員校庭で野球をしていた。
- ・生徒とにらみ合いになったが、その目の奥にはあどけなさが残っていた。

- ・元ラグビーの全国代表であった先生は、学校のラグビー部の顧問をし、生徒達をまとめていく。
- ・ある日の花園高校との試合で、112：0の大差で負けを喫する。
- ・こんなスコアで負けて悔しかった。
- ・「同じ高校生だぞ！」と鉄拳をあげた。
- ・なぐられて、生徒は「本当は悔しい」と言った。
- ・良治は、彼らを抱きしめた。
- ・そして厳しい練習に耐え、次の対戦で55：0で花園高校を破った。
- ・しかし、国学院久我山には負けた。
- ・しかし、翌年、奇跡が起きて優勝を果たす。
- ・報道陣の取材に対し、生徒達は「この先生は我々の先生だからカメラマンは入らないでくれ！」と突き飛ばした。
- ・彼は、脳腫瘍の宣告を受けた。
- ・病室を見たらいない。
- ・学校へ行っていた。
- ・正月明け、啓光学園との戦いを前にして、先生のために戦うと言った。
- ・先生は「お前達、格好いいぞ」と言った。
- ・こんな教師がいたら若者のいろいろな事件は起きなかっただろう。

1.1. 自分を好きになる

- ・自分を好きになること。
- ・自分を好きになれない人は、相手も好きになれない。
- ・自分を好きにならないと、自分が鮮やかに生きれない。
- ・人も、鮮やかに生かされない。
- ・全てを自分に戻すこと。
- ・感動すれば、生が鮮やかになる。



1.2. いかにか生きるか、死ぬか

- ・テキサス州の80歳の女医、キプラ・ローズさんの話。
- ・エイズに冒された若者の目が、身体が生き生きしている。
- ・なぜそうなのか？
- ・自分（若者）は、不幸な時を過ごした。刑務所の出入りを繰り返したが、改まらなかった。
- ・そして、エイズに冒された。そうしたら、お袋に会いたくなった。
- ・自分はガンだとうそをついて、ジョージア州に戻った。
- ・母の前で立ちすくんでいたら、母は抱きしめてくれた。
- ・母は、とっくにエイズと知っていたと言った。
- ・そして、彼は、生き生きと死んでいった。
- ・いかにか死ぬかが、いかにか生きるかである。
- ・富山県砺波市のカツキヨさん（31歳）が、妻と2人の子供に残した遺書がある。
- ・「心の優しい、思いやりのある子に育ってくれよ。倒れても倒れても立ち上がるのだ。（中略）いつまでも幸福であります様に。雪の降る夜に」父より
- ・自分の周囲の人が全て助けてくれた。
- ・全てが輝いて見えた。
- ・ありがとうを言わずにいられない。
- ・彼は最後に、私が死んだら、私の娘をよろしくお願ひしますと言った。
- ・「3人なら生きて行ける。父がいなくても、誇りを持って生きるのだ。私にはもったいない両親でした。置いていく両親を宜しくお願ひします。30歳の短い命でもよいので、同じに生まれてきたいです。私は幸福でした。人の心は素晴らしい。本当に皆さんありがとう。」
- ・砺波はチューリップの名産地。チューリップの球根が送られてきた。今でも庭先で彼は生き続けている。



ありがとうございました。

●行徳先生よりTOSHI紹介

- ・森信三先生の言葉に「出会いには、一瞬早からず、遅からず」がある。
- ・元、X日本のTOSHIを紹介します。
- ・彼との出会いがあり、今日は友情出演です。ではよろしく。

●TOSHI ライブ

- ・X日本をやって頂点に上り詰めたが、自分の中では「なんか違う」と思い続けていた。そして、自分に正直に生きようと辞めた。
- ・辞めてから8年目が経過した。
- ・今は、ギター1本で6000箇所以上回った。
- ・1曲目「君はいないか」・・・演奏
- ・リヤカーでも幸福と思えるようになってきた。
- ・逆境の時こそ、純粋に素直さを持って生きていく。
- ・1000倍の力を出して、それを乗り越えていく。
- ・2曲目「はるかなる自分」・・・演奏
- ・そろそろ復活しようと準備中です。



TOSHIさん！ ありがとうございます。

●親睦会～2次会



●平成19年（2007年）度の定例会日程

- ・1月無し、2月26日（月）／福岡、3月7日／京都（総会）、4月11日／松山、5月9日／名古屋
- ・6月6日／札幌、7月4日／静岡（実行委員会）、8月22～24日／サマーカレッジ
- ・9月5日／三重、10月10日／東京（総会）、11月7日／沖縄、12月無し
- ・1月は準備が整わないのでありません。
- ・2月は頭書21日（水）となっていました、現地の要請により26日（月）に変更になりましたのでご注意ください。<11月21日～事務局谷口記>

来年も、もっとソウルメイトの絆を深めていきましょう！